単独病床機能再編計画

1 概要

医療機関名	岐阜県厚生農業協同組合連合会 東濃中部医療センター 東濃厚生病院
所在地	岐阜県瑞浪市土岐町76番地1
診療科目	内科、循環器内科、神経内科、小児科、外科、皮膚科、整形外科、産婦人科 眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、放射線科、麻酔科、リハビリテーション科 脳神経外科、アレルギー科、病理診断科、消化器内科、血管外科、呼吸器外科 形成外科、乳腺内分泌外科

2 令和2年4月1日時点の状況

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計
許可病床数	55	215				270
稼働病床数 (A)	51	201				252

【参考：病床機能報告における病床数】

		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計
平成30年度 病床機能報告	許可病床数	55	215				270
	稼働病床数	53	208				261
令和元年度 病床機能報告	許可病床数	55	215				270
	稼働病床数	51	196				247

3 再編後の許可病床数

再編予定日

令和8年2月1日

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計
許可病床数 (B)	0	0	0	0		0
削減病床数 (B) - (A)	▲ 51	▲ 201	0	0	0	▲ 252

4 病床再編の必要性等について

【再編を検討した経緯】

土岐市・瑞浪市・本会において、土岐市立総合病院（350床）と東濃厚生病院（270床）の今後について検討を行った。（東濃中部の医療提供体制検討会）

上記検討会において、400床程度（高度急性期・急性期・回復期）の1病院化が最も適当との結論になった。

【削減病床数の考え方】

土岐市立総合病院と東濃厚生病院の一病院化に伴い、東濃厚生病院は廃院となる。

【その他】

東濃厚生病院の後利用として、無床診療所等を検討している。

■支給申請額算定シート

1	再編前の稼働病床数	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計	うち対象3区分(※3)の合計
	① 平成30年度病床機能報告	53	208					261
② 令和2年4月1日時点(※1)	51	201					252	252
③ 再編前病床数=②(※2)	51	201	0	0	0		252	252

- ※1 各機能ごとの数値については、地域医療構想調整会議にて確認されていること。
令和2年4月1日時点で病床数の変化があった場合は、変更前の病床数を記載すること。
平成30年度病床機能報告から令和2年4月1日までの間に、病床数の変更がない場合は、①と同じ値を記載すること。
- ※2 ①平成30年度病床機能報告時又は②令和2年4月1日時点の対象3区分合計のいずれか少ない方を基準とする。
- ※3 対象3区分=高度急性期、急性期、慢性期(以下同様)

2	再編後の許可病床数 (=再編後の稼働病床数)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟	合計	うち対象3区分の合計
						0	0	0

3	他の医療機関との病床融通数 (※4)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	対象3区分の合計
		47	3			50
	うち同一開設者の医療機関との病床融通数					(0)

- ※4 病院統合や地域医療連携推進法人の病床融通制度等を活用し、他の医療機関から病床の融通を受けた場合はマイナス表記、病床を融通した場合はプラス表記とすること。
また、「(参考) 病床融通に関する概要」シートに関連する医療機関の病床数を記載すること。

4	対象3区分から 回復期又は介護医療院へ 転換した病床数	回復期	介護医療院	合計
		0		0

5	減少病床数 (1の③-2)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計	うち対象3区分の合計
		51	201	0	0	0	252	252

6	過去に 令和2年度病床機能再編支援補助金 及び本事業で支給済の病床数	支給済病床数	5.減少数	4.うち転換数	6.支給済数	3.うち他院への 融通数	支給対象
			252	0	0	(0)	252

7	再編前の許可病床数	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計	うち対象3区分の合計
① 平成30年度病床機能報告	55	215					270	270
② 令和2年4月1日時点(※5)	55	215					270	270

- ※5 平成30年度病床機能報告から令和2年4月1日までの間に、病床数の変更がない場合は、①と同じ値を記載すること。

8	対象3区分の病棟の 年間在棟患者延べ数(人)	高度急性期	急性期	慢性期	合計
① 平成30年度病床機能報告(※6)	13,529	57,081			70,610
② 令和2年4月1日時点(※7)					0

- ※6 対象3区分の病棟に係る平成30年度病床機能報告の報告様式1(病棟票)の(48)欄の数値を計上すること。なお、平成30年度病床機能報告の報告様式1(病棟票)において、「過去1年間の間に病棟の再編・見直しあり」と報告した病棟の年間在棟患者延べ数については、以下の式により補正して計上すること。

○ 補正後の年間在棟患者延べ数 = 年間在棟患者延べ数(48)欄に記載された数値 ÷ 報告可能な対象期間(月単位) × 12

(注) 報告可能な対象期間(月単位)は、平成30年度病床機能報告で報告した月数とすること。

例) 報告可能な対象期間を「平成29年7月1日～平成30年12月末日」とした場合 ⇒ 報告可能な対象期間(月単位) = 6

- ※7 7の①と7の②の値が同じ場合は8の②の入力は不要。

9	<選択>	対象3区分の病床稼働率	一日平均実働病床数	適用
A	平成30年度病床機能報告	71.6%	193	適用
B	令和2年4月1日時点	0.0%	0	

10	再編前の対象3区分の稼働病床数 から一日平均実働病床数までの減 少分に係る支給額	単価(千円)	病床数	支給額(千円)
		1,824	59	107,616

11	一日平均実働病床数から再編後の 対象3区分の許可病床数までの減 少分に係る支給額	単価(千円)	病床数	支給額(千円)
		2,280	193	440,040

要件 審査	90%減少チェック	○
----------	-----------	---

12	支給申請額(千円)	547,656
----	-----------	---------